

## あいさつ



大会名誉会長

厚生労働大臣 武見敬三

「咲かせよう 砂丘に長寿と笑みの花」をテーマとした「第36回全国健康福祉祭とっとり大会（ねんりんピックはばたけ鳥取2024）」の開催を心からお慶び申し上げます。

我が国は、2025年にはいわゆる「団塊の世代」の方々がすべて75歳以上になるなど、超高齢化社会を迎えており、さらに、2040年までを見据えると、これまでの「高齢者の急増」から「現役世代の急減」へと局面が変わっていきます。

こうした中、全ての世代の方々が互いに支え合う「地域共生社会」の実現が重要となっており、厚生労働省では、豊富な経験と知識を持った高齢者が、生きがいを持ち、住み慣れた地域において健康で活動的に暮らしていけるよう、高齢者の社会参加や介護予防、認知症施策の推進等に取り組んでおります。

今年で36回目となる「全国健康福祉祭（ねんりんピック）」は、スポーツや健康・文化・福祉イベントなどを通じて、幅広い世代間での交流を深めるとともに、参加者の心身の健康維持・増進を図ることを目的としており、高齢者がいきいきと元気に活躍し続けられる社会づくりに寄与する、大変意義のある大会です。

今回の大会は、鳥取県内全19市町村で29種目の多彩なスポーツ・文化交流大会が行われます。また、高齢者が培ってきた豊かな経験・知識・技術を披露する「地域文化伝承館」や、県内のご当地グルメ・特産品など鳥取の魅力でおもてなしする「ふれあい広場」など、さまざまな催しも予定されています。

全国各地から御参加いただく皆様におかれては、体調管理に御留意いただきながらも、日頃の練習や活動の成果を遺憾なく発揮していただき、とっとり大会が世代を超えた皆様の「笑みの花」で満開となることを心より願っております。

最後となりましたが、本大会の開催に御尽力いただいた鳥取県と開催市町村をはじめとする関係者の皆さまに厚く御礼を申し上げ、挨拶とさせていただきます。

## あいさつ



大会名誉会長

一般財団法人長寿社会開発センター

理事長 高井 康行

全国各地から多くの皆様のご参加を得て、第36回全国健康福祉祭とっとり大会（ねんりんピックはばたけ鳥取2024）が開催の運びとなりましたこと、心よりお慶び申し上げます。

全国健康福祉祭（ねんりんピック）は、スポーツ、文化、福祉イベントなどの多彩な事業を通じて高齢者の生きがいと健康づくりを推進するとともに、高齢者をはじめとする各世代間の交流の促進や高齢者の社会参加を図り、豊かでふれあいと活力のある長寿社会づくりを推進することを目的として、官民一体となって行われる国民的祭典であります。

今年は「咲かせよう 砂丘に長寿と笑みの花」のテーマのもと、日本海や、大山をはじめとする中国山地を仰ぎ、四季折々に多彩な表情を織りなす鳥取砂丘など、自然溢れる鳥取県を舞台に、様々なイベントが盛大に繰り広げられます。本大会では、ねんりんピック初開催となるバウンスポールとeスポーツを含めた29種目の交流大会が、県内19市町村でそれぞれ開催されます。

参加される皆様方におかれましては、日頃の練習や活動の成果、これまで培ってこられた経験と知恵を、これらのイベントを通して遺憾なく発揮していただくとともに、本大会が、全国から参加される選手同士、そして地域の皆様やボランティアの方々とのふれあいと交流を深める場となり、それぞれの皆様が「笑みの花」を咲かせ、鳥取県の魅力を全国に広く発信する素晴らしい機会となることを期待しております。

結びに、本大会の開催に多大なるご尽力をいただきました大会関係者の皆様、並びに全国からの選手団を温かく迎えて下さる鳥取県、開催市町村の方々をはじめ、大会の運営を支えてくださるボランティアの皆様にご心から感謝申し上げますとともに、参加される皆様方の今後益々のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、私の挨拶といたします。

## あ い さ つ



大会名誉副会長

スポーツ庁長官 室 伏 広 治

第36回全国健康福祉祭とっとり大会（ねんりんピックはばたけ鳥取2024）が、美しい自然や日本一の星空、名湯、豊かな海の幸と山の幸を有する鳥取県で盛大に開催されますことを誠に喜ばしく存じます。

「人生100歳時代」を、生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営むためには、スポーツが重要な役割を担っています。スポーツには、心身の健康を保持・増進し、人生を生き生きと豊かに充実させ、人と人、地域と地域の交流を促進し、活力に満ちた長寿社会を実現させる大きな力があります。このため、スポーツ庁では、パリ2024オリンピック・パラリンピック競技大会による機運向上も生かし、一人でも多くの方が生活習慣の中でスポーツに親しみ、喜びを感じ、一人一人の人生や社会が豊かになる「Sport in Life」の実現に向けた取組を推進しております。

本大会は、年齢に関わらず心身を鍛え、やる気、自信、達成感、チャレンジ精神、向上心を育み、生きがいを感じながら生涯現役として活躍し続けるきっかけとなることが目標として掲げられており、様々な活動を通して誰もが交流の喜びやスポーツの力を実感できる大変意義深いものと考えております。

全国各地から参加される皆様におかれましては、日頃の練習の成果を存分に発揮されるとともに、本大会のテーマ「咲かせよう 砂丘に長寿と笑みの花」のとおり、多くの方々と健康長寿のすばらしさを確かめ合い、スポーツや文化活動を通じた「交流」の輪を広めていただくことを期待しております。

結びに、本大会の開催に当たり、鳥取県、会場となる各市町村をはじめとする関係の皆様への御尽力に対し、心から感謝を申し上げますとともに、大会の成功を心から祈念いたしまして、挨拶といたします。

## 秋本番の鳥取へようこそ



第36回全国健康福祉祭とっとり大会会長  
鳥取県知事 平井伸治

鳥取県へ、ようこそ、ようこそ。

全国各地からご来県いただき「第36回全国健康福祉祭とっとり大会（ねんりんピックはばたけ鳥取2024）」を開催するにあたり、県民とともに心より歓迎申し上げます。また、本大会の開催にご支援・ご協力をいただきました皆様に衷心より感謝申し上げます。

「咲かせよう 砂丘に長寿と笑みの花」をテーマに、スポーツや文化を通じた交流が華やかに繰り広げられ、本大会が健康づくりや生きがいづくり、フレイル予防などが発展する舞台となれば幸いです。本大会の実施種目では、幅広い人気を集めるグラウンド・ゴルフ、更にはバウンスポールも鳥取県発祥のスポーツです。加えて、誰もが楽しめるeスポーツを初めて実施するなど、29種目の交流大会を県内全19市町村で開催いたします。

各交流大会に見事出場を果たされた皆様には、お身体に十分ご留意の上、日頃の練習や活動の成果を存分に発揮され、それぞれの目標目指して挑戦していただきますとともに、地域や世代を越えた交流の輪が大きく広がり、いつまでも心に残る素晴らしい大会となりますことを心から願っております。

3人に1人が高齢者というシニア社会先進県の本県では、人生のあらゆるステージにおいて、豊かな自然と人々の絆「支え愛」の中で、誰もが自分らしく生きることができる地域づくりを、県民一丸となって進めてまいりました。「障がいを知り、共に生きる」という精神で国が障がい者への合理的配慮を規定する10年前から「あいサポート運動」を進めた鳥取県らしく県民の温もりでお迎えしようと、本大会に向けて精力的に準備を進めてまいりました。

「秋風や 浜坂砂丘 少しゆく」（高浜虚子）

鳥取県は、「鳥取砂丘」をはじめとする山陰海岸ジオパークや中国地方の最高峰「大山（だいせん）」などの雄大な自然に恵まれ、心と身体を癒す10の温泉地や、地下の弥生博物館と称される出土品を誇る「青谷上寺地（あおやかみじち）遺跡」やわが国最大の弥生集落「妻木晩田（むきばんだ）遺跡」、更には「水木しげるロード」・「青山剛昌ふるさと館」等の「まんが王国とっとり」めぐりや、因幡の白兎で有名な白兎海岸や歴史的な倉吉白壁土蔵群など、見所がいっぱいです。そして、特産の梨や柿、鳥取和牛やカニなど、海の幸、山の幸、里の幸あふれる「食パラダイス」でもあります。

ぜひとも、この機会に鳥取県の魅力をご堪能いただき、秋本番の彩り豊かな本大会の思い出を胸に刻んでください。

結びに、お集まりの皆様のご健勝、ご多幸をお祈り申し上げ、鳥取大会で咲いた「長寿と笑みの花」が全国各地へ広がりますよう、ご祈念申し上げます。

## 歓迎のことば



鳥取県議会議長 浜崎 晋一

第36回全国健康福祉祭とっとり大会（ねりんピックはばたけ鳥取2024）が、ここ鳥取県において盛大に開催されるにあたり、鳥取県議会を代表いたしまして、歓迎のご挨拶を申し上げます。

全国からご参加の皆様方には、ようこそ鳥取県へお越しくございました。心から歓迎申し上げます。

さて、人生100年時代を迎えている我が国では、健康寿命を更に延伸するとともに、年齢にとらわれず全ての年代の方々が意欲や能力に応じて活躍できる社会の構築が求められており、特に地方においては、高齢期の方がその豊富な経験や特技などを活かして地域の担い手として活躍されることも期待されています。

こうした中、「咲かせよう 砂丘に長寿と笑みの花」という大会テーマのもとで本大会が開催され、スポーツや文化活動を通じて様々な人の絆が広がることは誠に意義深く、大会を通じて世代間交流や地域内外の人々のふれあいが深まり、高齢期の方々も参画する持続可能な地域共生社会の実現につながることを期待しております。

参加される皆様方におかれましては、日頃の練習や活動の成果を十分に発揮されるとともに、地域や世代を超えて交流の輪を広げていただき、心に残る実り深き大会となることを心から願っております。

ここ鳥取県は、砂と風による奇跡の造形美「鳥取砂丘」や、伯耆富士とも呼ばれる国立公園・大山をはじめ、青く澄み渡る日本海、緑豊かな山々に囲まれた自然あふれる地で、豊かな海の幸と山の幸も盛りだくさんです。ぜひこの機会に、癒しの空間“とっとり”を“ゆったり”と“たっぷり”と余すことなくご堪能いただけると幸いです。

結びに、本大会の開催にあたり、格別のご尽力を賜りました多くの皆様方に心から感謝を申し上げますとともに、本大会のご成功とご参加の皆様方の今後ますますのご健勝、ご多幸を祈念いたしまして、歓迎の言葉といたします。



\\ 美味しすぎてショック! / /



# 鳥取県 食パラダイス

Food Paradise Tottori Prefecture  
美食天堂鳥取県 美食天國鳥取縣  
맛의 천국 美鳥可憐



鳥取県



ねんりんピックはばたけ鳥取2024  
大会オリジナルソング

## 「鳥取に恋して」

作詞・作曲:hacto 編曲:川田俊介

広い大空羽ばたく鳥のように  
僕ら未来飛んで行ける

大山の頂上なんていい眺めだ  
変わらない忘れない景色がある

この町で生まれて本当に良かった  
懐かしいメロディ心が踊る

深く息を吸って空を見上げたら  
僕の町から君の町へ繋がっていた

何にもないからと鳥取飛び出した  
けど結局帰る場所はここなんだ

空へと続く国道9号線  
またたく星手が届きそう

海へと続く国道9号線  
砂丘を越えて空へ歌え

鳥取県はトリ(鳥)トル(取)ケン(県)  
覚えやすいだが

鳥取県はトリ(鳥)トル(取)ケン(県)  
覚えやすいだが

鳥のように歌おうで  
恥ずかしくてええがん  
問題なんて問題ない

鳥のように歌おうで  
恥ずかしくてええがん  
問題なんて問題ない

悩み尽きんけど  
この町が好きだから  
素敵な恋したい

悩み尽きんけど  
この町が好きだから  
素敵な恋したい

鳥取に恋して あなたに恋して

鳥取に恋して あなたに恋して

いくつになっても  
空を飛べるはず  
この世界は素晴らしい  
そう思えるように

鳥取に恋して あなたに恋して

## 大会オリジナルソング作成者「hacto」プロフィール



鳥取市出身のシンガーソングライター。鳥取の「因幡の白兔」の神話から「hacto」と命名。上京し大学卒業後、ロックバンドを経て、現在ギター弾き歌いに転向。全国に足を運びライブ活動中。

2011の東日本大震災後、福島県と故郷山陰に毎月歌を届けてつづけている。

1/fの揺らぎを感じる包み込むような温かい歌声と心に響くストレートな歌詞。情景が浮かぶ柔らかく心地良いメロディ。ストレスに効くhactoの歌声はリスナーの日常に優しくそっと寄り添います。

○2013 島根県江津市立桜江小学校児童作詞、hacto作曲  
福島応援ソング「幸せした花々」制作 2014リリース

○2015 フルアルバム「青い鳥ノ行方」リリース

○2018 春夏秋冬各コンセプトアルバム制作リリース

○2021.6 鳥取市住宅メーカー「株式会社 マツワ」CMソング「マツワのうた」リリース

現在、「株式会社マツワ」「鳥取信用金庫」テレビCMにて楽曲オンエア中

## ねんりんピックテーマソング

## 「明日へとつづく道」

作詞：結城恵助 作曲：白鳥澄夫  
編曲：渡辺雅二 歌：白鳥英美子

木の葉の<sup>しずく</sup>滴 朝に輝き  
時を流れ 川にそそぐ  
川は流れ 空を映し  
大河となって 海へとつづく  
両手をかざし 仰ぐ空に  
あふれる陽射し ときめきの日々  
人はだれも 旅の途中 今日をたしかめ 明日へとつづく

ほほ笑む花に 語る午後に  
歩みをとめて 想う月日  
ふりかえれば わたしの道  
刻む時の 旅の途中

歌おう命 生きる誇り  
わたしは今 ここにいと  
人はだれも 旅の途中 今日をたしかめ 明日へとつづく  
歌おう命 生きる誇り  
わたしは今 ここにいと  
人はだれも 旅の途中 今日をたしかめ 明日へとつづく



# 大会概要



## 1 基本方針

人生100年時代を迎えている我が国では、健康寿命の更なる延伸と、一人一人の意欲や能力などを最大限発揮できるエイジレス社会の構築が重要視されており、幅広い世代の方が元気に活躍でき、暮らすことができる社会づくりが大切になっています。また、地方においては、人口減少が進む中、高齢期の方の豊富な経験や特技などを活かした地域の担い手としての活躍も期待されるところです。第36回全国健康福祉祭とっとり大会では、こうした観点で、高齢期の方をはじめ誰もがのびのびと、そして生き生きとスポーツや文化活動に親しめ、鳥取県の豊かな自然・おいしい空気の中で、各地域から全国へ世代を超えて交流の輪が広がる大会となるよう、次の目標を掲げて開催します。

### 【大会目標】

#### 1 いくつになっても生き生きと活動し、心身ともに健康長寿・生涯現役に繋げる大会

人々の生活がいつまでも健康で生き生きしたものになるよう、スポーツや文化活動によって年齢に関わらず心身を鍛え、やる気、自信、達成感、チャレンジ精神、向上心を育み、生きがいを感じながら生涯現役として活躍し続けるきっかけとなる大会とします。

#### 2 共にふれあい、分かち合うことで、人と人のきずなを強く感じられる大会

同じ目標に向けて多くの人とふれあい、喜びや悔しさ、楽しさや感動を分かち合い、時には互いに切磋琢磨し励まし合うことで、強いきずなを結び人生が充実するための大会とします。

#### 3 世代や立場を超えた地域内外の繋がりによって、持続可能な地域共生社会を作り出す大会

大会を通じ、多くの機会、きっかけ、場面が設けられることで、若い世代への伝達や他地域との親睦、地域産業との触れ合い、地域文化の再発見や継承の促進など、世代や立場を超えて様々な繋がりが生じる中で、各々が互いに新しい刺激を与え合いながら、高齢期の方々も参画する持続可能な地域共生社会を創造するための大会とします。

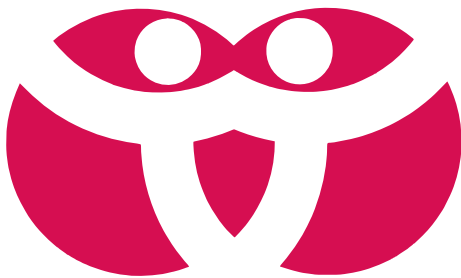
#### 4 ゆったり、たっぷり、ととりの魅力を満喫していただける大会

美しい自然や日本一の星空、各地の名湯、豊かな海の幸と山の幸、癒しの空間“とっとり”を“ゆったり”と“たっぷり”と堪能し、至福の時間を過ごしてもらいながら、鳥取県民の温かい人柄、最高のおもてなしを通して、また鳥取にきたい！と思っただけの心ときめく笑顔の絶えない大会とします。



## 2 大会の概要

- 1 名称 第36回全国健康福祉祭とっとり大会
- 2 愛称 **ねんりんピックはばたけ鳥取2024**
- 3 主催 厚生労働省、鳥取県、一般財団法人長寿社会開発センター
- 4 共催 スポーツ庁
- 5 テーマ **咲かせよう 砂丘に長寿と笑みの花**
- 6 会期 令和6年10月19日（土）～10月22日（火）
- 7 参加予定人員 延べ約40万人（観客含む）
- 8 シンボルマーク



老いも若きも仲よく、ともに生きていく社会を二人の人物で表しています。また、2つの円は、その組み合わせにより、お互いに助け合い、健康と福祉の輪が未来に向かって広がっていくことを意味しています。

## 9 マスコットキャラクター



あおやかみじろう

鳥取市青谷上寺地遺跡から出土した人骨をもとに復顔した青谷弥生人「青谷上寺朗」をモチーフにしたキャラクター「あおやかみじろう」を大会PRキャラクターに採用しました。

約1800年の時空を超えて復活した弥生人パワーで、「ねんりんピックはばたけ鳥取2024」を元気いっぱいに応援します。

### 3 事業体系及びスケジュール



大会概要

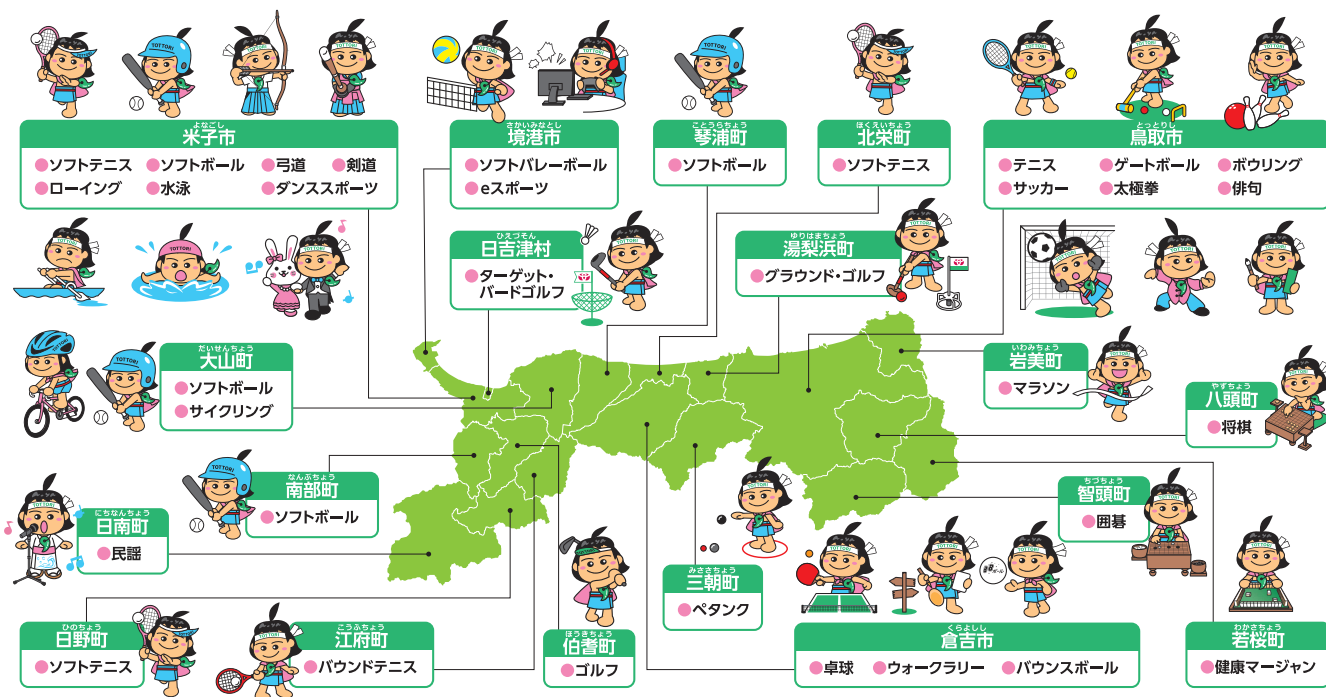
		10月19日(土)	10月20日(日)	10月21日(月)	10月22日(火)	
ねんりんピックはばたけ鳥取2024	総合開会式	総合開会式				
	健康関連イベント	スポーツ交流大会				
		ふれあいスポーツ交流大会				
		健康づくり教室（各交流大会会場）				
		ふれあいニュースポーツ				
	福祉・生きがい関連イベント	健康フェア				
		文化交流大会				
		美術展				
		地域文化伝承館				
		音楽文化祭				
相談コーナー						
「心豊かに歌う全国ふれあい短歌大会」優秀作品展						
健康、福祉・生きがい共通イベント				講演会		
オリジナルイベント	健康福祉機器展					
	ふれあい広場					
協賛イベント	○スタンプラリー ○シールラリー					
	○メガロス体力測定会2024 ○一ノ湯オリジナルキーホルダーを作ろう！ ○歯と口の健康相談室 ○鳥取県の天然芝生産と校庭・園庭の芝生化 ○ストレスチェックをやってみよう ○ものづくりを体験しよう！ ○和心量のワークショップ ○支える人を支えよう「赤い羽根共同募金」 ○ネイルでねんりんピックを応援しよう！ ○不規則脈波確認による脳卒中予防啓発 ○健康スコアチェック ○オカリナ&マラカス d e アンサンブル (マラカスを作ってみよう！)					
総合閉会式				総合閉会式		

1	卓球	(倉吉市)
2	テニス	(鳥取市)
3	ソフトテニス	(米子市、北栄町、日野町)
4	ソフトボール	(米子市、琴浦町、大山町、南部町)
5	ゲートボール	(鳥取市)
6	ペタンク	(三朝町)
7	ゴルフ	(伯耆町)
8	マラソン	(岩美町)
9	弓道	(米子市)
10	剣道	(米子市)

1	ローイング	(米子市)
2	水泳	(米子市)
3	グラウンド・ゴルフ	(湯梨浜町)
4	ボウリング	(鳥取市)
5	サッカー	(鳥取市)
6	ソフトバレーボール	(境港市)
7	ウォークラリー	(倉吉市)
8	太極拳	(鳥取市)
9	ターゲット・バードゴルフ	(日吉津村)
10	バウンドテニス	(江府町)
11	ダンススポーツ	(米子市)
12	サイクリング	(大山町)
13	バウンスボール	(倉吉市)

1	囲碁	(智頭町)
2	将棋	(八頭町)
3	俳句	(鳥取市)
4	民謡	(日南町)
5	健康マージャン	(若桜町)
6	eスポーツ	(境港市)

交流大会開催地 (県内19市町村・29種目)





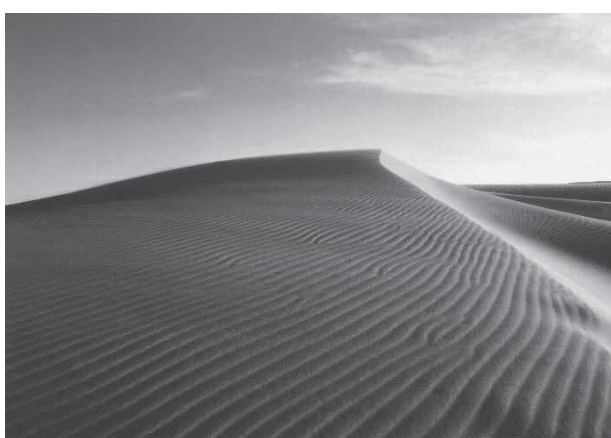
## 4 鳥取県の紹介



### ○鳥取県の自然

鳥取県は、中国地方の北東側に位置し、東西にやや細長い県です。

県東部にある鳥取砂丘は国立公園に指定されており、風紋・砂簾・砂柱、ハマゴウなど砂丘独特の地形、植物群落を有す景勝地です。乾いた砂が風によって移動し、風紋と呼ばれる美しい模様をつくります。

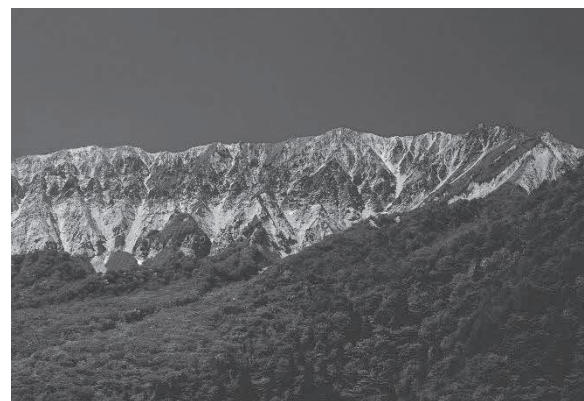


鳥取砂丘

県西側には、中国地方で一番高い大山をはじめとする中国山地がそびえており、海・山両方の自然に恵まれています。気候は比較的温暖で、春から秋は好天が多く、冬には降雪もあるなど、四季の移り変わりは鮮やかです。

### ○鳥取県のおいたち

「鳥取」という県名は、飛鳥時代のころ鳥取部（とりとりべ）と呼ばれた、鳥を取る役目を与えられた人びとが住んでいたことにちなんでいます。江戸時代には因幡、伯耆の二つの国を合わせた地域を鳥取藩として池田氏が治めるようになりました。



大山

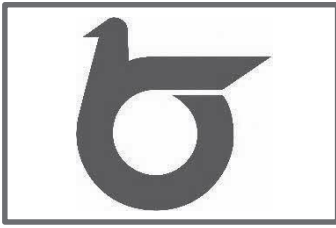


倉吉白壁土蔵群

その後、明治4年に廃藩置県により鳥取藩は鳥取県になりましたが、明治9年には隣の島根県に合併されました。鳥取県が廃止された期間は5年間続きましたが、鳥取県再置を願う地元の熱い思いを受け、明治14年9月12日に現在の鳥取県が誕生しました。

この、歴史的な鳥取県が生まれた日にちなみ、平成10年に9月12日を「とっとり県民の日」とすることが定められました。

## ○鳥取県のシンボル



県章（昭和 43 年 10 月 23 日制定）

飛ぶ鳥の姿と、鳥取県のかしら文字「と」をイメージしてデザインしています。自由と、平和と、鳥取県の発展を願って作られました。



県の花：二十世紀梨の花（昭和 29 年 3 月 22 日制定）

県の産業・生活に根付いた二十世紀梨の花は、県内のどこにでも見られ、県民に広く愛されています。



県の木：ダイセンキョラボク（昭和 41 年 3 月 30 日制定）

イチイ科に属する、高地に生育する針葉樹。風雪にたえてのびゆく強い姿が鳥取県の自然の美しさ、発展につながるとされています。



県の鳥：オシドリ（昭和 39 年 11 月 21 日制定）

水鳥の一種で県内の沼や池にすむ保護鳥。美しく、平和な姿が県内のいろいろなところで見られることから選定されました。

鳥取県民歌

わきあがる力

鳥取県民歌制定委員会作詞

一、大山は さやかに晴れて、

水清く 湯けむりのぼる。

ゆたかなる 緑の大地、

美しき ふるさとたたえ、

鳥取、鳥取、鳥取県民、

すこやかに 生きるしあわせ。

二、梨の実は 枝もたわわに、

陽に映えて 稲穂はゆれる。

建設の 若きうたごえ、

わきあがる 力にみちて、

鳥取、鳥取、鳥取県民、

たくましく 歩むよろこび。

三、遠き世の 歴史をうけて、

日本海 しおさうたう。

夢をよぶ 砂丘のかなた、

あらたなる 文化をひらき、

鳥取、鳥取、鳥取県民、

もろともに 明日をすすむ。